

教育委員と市民との意見交換会 会議録

◆開催日時

令和元年11月16日（土） 15時00分から17時05分まで

◆開催場所

南部公民館 第1展示室

◆出席者

教育長 滝 誠

教育委員 教育長職務代理者 高木浩行 委員 紀藤統一 委員 田中秀佳
委員 奥村康祐 委員 小倉志保 委員 堀 美鈴

◆参加者 12名

◆議事内容

	開 会
教育長：	ただ今より、教育委員と市民との意見交換会を開催します。
	教育長挨拶
教育長：	教育長の滝です。本日はお忙しい中お越しくださいます。感謝しています。人数ではなく、質でお話をしていきたいと思えます。瀬見井教育長が平成9年に犬山市の教育長に就任してから、さまざまな教育改革を進めて参りました。特に犬山の教育が脚光を浴び始めたのは、平成19年度からスタートした全国学力学習状況調査に不参加をすると。これが一躍、日本中に響き渡りまして、本当にあの当時は毎日のように全国の市町村の市議会議員の皆様方がご視察にみえまして、ぜひ犬山の教育をとということで、学校現場にも足を運んでいただいた経緯がございます。今日はそういった流れを汲んで今も必要な部分は継承しながら、教育を進めているわけではありますが、おそらく犬山の教育について日頃思っていること、あるいは疑問に感じていること、あるいは疑問に感じていること、ぜひそんなことをお聞かせいただけて、みんなでこれからの犬山の教育について考えていくことができたらなと思っておりますので、どうぞ遠慮なくご意見ご質問をいただけることをお願い申し上げまして、最初の私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。
	教育委員の紹介
教育長：	早速、教育委員の紹介をしたいと思います。私、教育長の滝誠と申します。どうぞよろしくお願い致します。
教育長職務代理者：	委員の高木でございます。いつもお世話になっております。今日はこういう機会を設けていただいて、本当に有り難いなと思っております。教育はとても深いもので、答えがないものではないのかなと常々思っております。ただ、それをよりよい教育をしていくためには、保護者の方

	<p>というか市民の方、学校現場の方、委員会が三位一体となって作り上げていきたいなということを常々思っております。今日は建設的な意見交換の場をとすることを思いながら、忌憚のないご意見をいただけると有り難いかなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
小倉委員:	<p>小倉と申します。よろしくお願いいたします。今日はお忙しい中ありがとうございます。皆さんと一緒に子どもの教育のことを考えていきたいなと思っております。子ども達は地域で育てるとよく犬山でお話されていると思うんですけど、本当に保護者だけでなく地域みんなで子どもを育てていきたいなと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
紀藤委員:	<p>委員の紀藤と申します。私は小中学校の教育に携わり、現在は幼児教育に携わっております。今思うのは、子ども達は一人一人素晴らしい力を持っているのだけれども、なかなかそれが伸ばせない。それを伸ばしていくためにはどうしていったらいいのかというのを、常に課題に取り組んでおります。今日また意見を聞かせていただいて、それを参考にいろんなことにお役に立てばと思っております。今日はよろしくお願いいたします。</p>
田中委員:	<p>教育委員の田中と申します。本日はお越しいただきましてありがとうございます。私は普段は名古屋経済大学というところで大学の教員をしております。専門が教育制度とか教育行政を研究しております。教育委員会というのは随分歴史が長いのですが、われわれ教育委員というのは、制度上市民の代表として、犬山の教育を考えていく、リードしていくという役割があります。ですので、市民の代表ということですので、本来であれば普段こういう場はなかなかないんですが、市民の皆様の意見を聞いて、皆さんが感じているようなことをわれわれが責任を持って伺って、それを基に犬山市の教育を進めていく。そういう役割を背負っているということですので、本日はとても貴重な、重要な機会だと思って参加しました。皆様からさまざまなご意見をお聞かせいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。</p>
奥村委員:	<p>教育委員の奥村と申します。私は今現在、子どもが中学校におります。こちらの場に立つ人間ではないと自分では思っております。皆さんの側に立っているものと同じです。自分の子どもも犬山市で育てていただいていて、縁があって教育委員をさせていただいておりますが、考えて思うことはプロの教育についてということではなく、純粋に保護者として、地域として教育のために、学校のためにと思っております。この場で言いにくいことがありましたら、終わった後でも何なりとお話をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
堀委員:	<p>教育委員の堀と申します。この中では一番新米です。ずっと保育の方に携わっていました。その時に親御さんがどうであれ、お子さんが力が出せるようにということが一番思っていました。そのためには、やはり皆様のお力が必要なので、これからもよろしくお願いいたしますと思ってい</p>

	ます。今日はまた勉強させていただきます。よろしくお願いします。
	質疑・応答
教育長:	ではよろしくお願いします。失礼ですが着座にて会を進めさせていただきますのでよろしくお願いします。日頃犬山の教育について思っていることだとか、聞きたいことがもしあれば、その時間内でご発言がいただけたらなと思っていますので、ぜひお声を聞かせていただいてお考えをお聞かせいただきたいと思います。
参加者:	今日はこういった素晴らしい会が開かれるということで、皆さんの意見を聞きたいなと思って、参加させていただきました。なので私はこれが言いたいということが全くないわけではないのですが、今すぐ言えと言われてもまとまてはいないので、犬山の教育についても、いろいろ思うところがあります。でも正解はないと思うので、教育委員会、学校、そして親、地域が一体となっていていろいろ譲歩しながら、子どものためにやっていければいいというのが私の気持ちです。また後で言いたいことは意見させてください。
教育長:	なかなか最初にしゃべっていただくのは大変だと思います。ありがとうございます。では申し訳ございませんが順番でよろしいですか。
参加者:	皆さん、どんなことを感じてみえるのかをお聞きしたいなと思って参加しました。
参加者:	今日参加させていただいたのは、実は、愛知県教育委員会が主催しております地域コーディネーター講習会に2年続けて参加しております。なぜ私が参加しているのかは、後で報告しますが、平成27年度12月に中央教育審議会の方針が出されて、地域学校協働事業というものがあり、愛知県はモデルケースの都道府県ということで指定されておまして、研修会には他府県の方は行政の方や教育委員や学校長とか、地域コーディネーターの方が出席されているんですが、犬山市はそれに対してどのような考え方を持っておるのかということ、教育長及び委員の先生にお聞きしたいなと思って参加しました。よろしくお願いします。
参加者:	いろいろ思うところがありますが、また話が煮詰まったら話をさせていただきます。
参加者:	今日は皆さんの意見を聞くことができたという思いで参加させていただきました。よろしくお願いします。
参加者:	今日、どういう意見が市民の皆さんから出るのかなということを聞き取りに来ましたが、もし機会があれば、学校教育というよりも、どちらかというと社会教育について聞く機会がなかなかないので、聞きたいなと思います。時間があれば結構でございます。
参加者:	皆さんのご意見を聞きたいなと思ってきました。以上です。
参加者:	こういった機会は出来る限り参加したいと私は思っていて、意見が出来る場があれば、事ある毎に犬山の2学期制には疑問を思い、3学

	<p>期制にしてほしいというような意見を、これまで訴えてきた立場であります。ただ、3学期制には比較的犬山市としては、否定的というところとちょっと語弊があるかもしれませんが、3学期制に戻すというような考え方はないだろうなというような実感を持っていまして、今、2学期制から3学期制に関しては、私の中では一時の思いからはちょっと下火になりました。今、私の中で思っている教育の中では、犬山市の給食費の案件については、いろいろ検討を重ねてみえるようですし、それから楽田に関しては、児童クラブが、児童センターから学校内に移るといふことでの検討がなされているところではありますので、疑問点など、もし今日お伝えすることができるのであれば、していきたいなといふことで、参加させていただきました。</p>
教育長:	<p>ありがとうございました。今ざっとお伺いしますと、地域学校協働事業の件、社会教育について、国語教育と学校との連携、2学期制と3学期制、給食費の件、児童クラブの学校内への移行といただきましたが、順番に解決をしていきたいと思っております。教育委員会は何をやっているかという疑問もありましたね。この辺り田中先生、ご専門といひますか、よくわかるようにご説明をしていただけますか。</p>
委員:	<p>先程、おっしゃったようなことで基本的にはその通りなんですけど、教育委員というのはシステムとしては、教育委員会といふところと教育委員会事務局といふところがありまして、狭い意味での教育委員会といふのは教育委員で話し合いをして、いろんなことの決定権があつてといふことなんですけど、ただ教育長を除いて、残りのメンバーは基本的に非常勤といひますか、他にも仕事があつて、市民の代表といふことなので、素人といふことが前提なんです。たまたま私は教育の専門ではあるんですけど、保護者代表であつたりとか。市民代表として選ばれて、その中で基本的に普段は教育委員会に勤めているわけではないので、日常的には教育委員会事務局といふ行政の部分であつたり、学校の先生であつたりといふ方々、特に学校教育が中心になりますけど、基本的にどう進めていくかです。学校でこういうことをやりますといふ報告を受けたりは事務局であつて、われわれはその報告を受けて、これはこうすべきではないですかとこちらも提案したり、質問したりといふような立場にあります。一応研究者として教育委員会をずっと勉強してきているのですが、いざなってみると、何となく市議会議員と同じような感覚がすごくありまして、今、教育委員会はどういうことをしているのか。例えば、給食費や学力テストもそうですけど、どうして犬山市の教育をやっていくのか。われわれも中心的に決めるという立場ではなくて、基本的に事務局で素案を出していただいて、それについて更に最終的には決定まで話を進めていくという形で、例えば学校でどうなっているのか、資料や統計は教育委員会にあるのか、われわれが情報提供を受けて、それではこうしようといふことを提案する提言するといひますか、そういうような形です。なので、先程も申し上げた通り学校であつたり、</p>

	<p>市民の皆さんがどう思っているのかというところを把握していないと、実は皆さんの意見は反映できないんですけど、一般的に全国の教育委員会どこを見ても、基本的には教育委員会が何をやっているか、誰がそもそもやっているのかわからないシステムにはなってしまうので、日本中の問題なんですけど、しかも非常勤ですので、例えばいじめの問題が起きた時に、いつも教育委員会が無責任なという報道がされますけど、制度的にすごく矛盾があって、普段全然知らないところでいじめ問題、あるいは自殺が起きた時に、じゃあどうしたらいいのでしょうか。というところで、全国の教育委員会はどうしていったらいいのかなという感じなんです。ですので、犬山市の教育委員会はどうしていいのかという時に、例えば今回の意見交換会というところを作っていくと、より市民の皆様の意見を反映されることになるでしょうし、そもそも教育委員会って、何やっているのか。どうすればいいのかというところも、こういった場があって初めて理解できるのかなという感じが私はしております。</p>
教育長:	何かこれについて、お話がされたいということであれば。
参加者:	私のイメージでは、教育委員会というのはすごく高い位置にある気がして、でもいろんな決定をして、エアコンを入れるとか、2期制にしてとか、あらゆる決定を教育委員会が決めていると思っていました。でも事務局で案が上がってきたものを相談しながら、決定もされていくんですね。
教育長:	<p>教育委員会というのは4つの課を持っています、学校教育課、文化スポーツ課、歴史まちづくり課、子ども未来課。守備範囲がめちゃくちゃ広いんです。ですから教育委員会というと学校のことばかりやっているように思われがちですが、実はさまざまな仕事があります。かつては、教育委員会には教育委員長さんがいたんです。それと教育長がいたんです。多くの自治体は教育委員は5名なんです。教育委員は市長が議会の同意を得て任命するんです。ところが教育委員長は教育委員会のトップなんですけど、事務方のトップは教育長だったんです。例えば学校現場で何かが起こった時に、教育委員会はと言った時に、委員長の責任なのか教育長の責任なのか曖昧だったんです。例えば大津のいじめ事件。これがきっかけだったんですけど、委員長なのか教育長なのか、その責任の所在をもっとはっきりさせたほうがいいということで、平成27年度から教育委員会の制度が変わったんです。要は教育長は教育委員会の代表であり、教育委員会の事務局の代表も務める。昔は教育長も教育委員の一人だったんですけど、今は教育長は教育長、教育委員は教育委員。ですから私はめちゃくちゃ責任があるんです。教育委員会のことも責任があります。事務局のいろんなことにも責任があります。だから学校現場でいろんなことがあると、自分に責任を感じますので、何とかしなければいけないということで、学校に連絡をとって是正をしてもらったり、あるいは褒めてもらった時にはこんなお褒めの言葉をいただいたよと励</p>

ましの言葉をかけたりはしています。教育委員会というのは、犬山の教育の根本的な考え方、こういうふうで犬山の教育を進めていきたいと思いますということ、ここだけではなく校長先生方や教頭先生方、いろんな方々とやり取りをしながら、じゃあこれでいこうね。じゃあ教育委員会の皆さんにご意見を聞いてみましょう。教育委員会も皆さんがそれでいいということであれば、これでいきたいと思います。ただ校長会で議論してきた。でもここはこういうふうに直した方がいいのではないかということであれば、それをまたお時間をいただいて、それを教育委員会でこういうご意見をいただきましたということ、校長先生方、教頭先生方にお話をして、そこはそのように変えてもいいよということで、両方の了解が得られたものについては、じゃあ行きましょうということになっていくんです。ですから、教育委員会は何をやっているかということ、学校現場を支えもしますし、指導もするということですね。これは市長が変わったからといって、教育が大きな影響を受けてはいけないので、教育の中立性、独立性、継続性ということが保障されなければいけないということで、教育委員会の人事だとか、いろんな中身については、たとえ市長でも、もの申すことは許されないんです。ただ教育施策を進めていく段階では、予算が要りますよね。教育委員会としては予算は要望するんですけど、実際に予算を編成する権限は市長が持っているんです。それを議会がお認めいただくとやっとな予算が成立する。だから、議会でも質問があったんですが、過去に教育長と市長がバトル状態だった時があったんですが、かなり教育予算が削られたんです。市長の意に沿わないような教育長が辞めたら、予算全部つけてやるという時代があったことは事実です。少しは教育委員会というのはわかっていただけでしょうか。一度市役所の3階に来ていただきますと、みんな一生懸命仕事やってくれていますので、ぜひお出てください。また何か今の説明で他にありましたら、お話を聞きたいと思います。

では、地域学校協働事業について、今これは南部中学校が中心になってやっていますよね。特に楽田コミュニティの皆さんのお力を借りながら、一時は部活動もコミュニティの方のお力を借りて、学習支援もやっていただき、図書館の整備もそうです。いろんな面で地域の方々と。子ども達が育っていくのは学校教育だけではもう限界があると。地域総ぐるみで子ども達を育てていかななくてはならないということで、この地域学校協働事業が、国が音頭を取って進められようとしているわけで、これはまだ全国的には広がっていませんが。これについてどう考えるかということですが、私の勝手な考え、教育長の話をとということだったので。学校教育だけでは限界がある。ぜひ地域の皆様方のお力を借りなくてはならない。ただ予算が要りますよね。いろいろ例えば地域の方に学習支援をしていただく。そのお手当を出したい。実は南部中学校でこの動きがありまして、私は金の掛からないことをやってくれと。金の工面をするのは教育委員会ではないかと言われれば、確かに教育委員会

	<p>で予算要望をして市長にお認めいただくのですが、なるべくお金が掛からないように、校長先生とも話をしながら、南部中学校独自の事業を進めていただきますが、教育委員会では10万円予算が付けてあります。例えば毎朝図書館に来て、子ども達が本に親しむような環境を今、作っています。それから夏休みに子ども達が学校へ来て勉強ができるように、また卒業生達が勉強を教えていくというサポートをしてくれていますが、地域と連携をすることは非常に重要なことだ。今後南部中学校は、今、試行的にモデル事業でやっていますが、これが上手くいくようであれば、そういった状況をいろんな学校に広げていけたらいいかなと思っていますが、今の私の話では十分な答えになっていないでしょうか。</p>
<p>参加者:</p>	<p>滝先生がおっしゃったことはすべてわかっております。いわゆる僕の印象は、地域学校協働事業について教育委員会が何も方針を出していないというふうに思っています。南部中でやるということではなくて、いわゆる国、中央教育審議会や文部科学省の方針は、全ての小学校中学校に地域コーディネーターを配置しなさい。複数配置しなさい。コーディネーターが全員有償ではないんです。有償ボランティアではないですけど、少なくとも統括コーディネーターに関しては、年間120時間位の予算は付いていますね。だからこれはだれがやるかという、津島市とか北名古屋市とか、いろんな教育長の話聞いてみますと、教育委員会がちゃんと予算をきちっと求めて、1千万円、そういったお金を市に認めさせているわけです。具体的に去年の緊急報告を見ましても、愛知県の中でも、例えば津島市は26人、北名古屋市は21人、横浜市に至っては796人、地域コーディネーターが配置されている。だから僕自身も認識しているのは、いわゆる文科省の方針が、今回がらっと変わって、教員だけで教育しない。地域の方と一緒に子どもを育てるんだということがベースになって、そのために学校の中に一市民の居場所、コーディネーターの場所を作りなさい。学校に無ければ公民館に作りなさい。その中で教員と一緒にあって、日常的に教育に携わりながら、コーディネーターは学校と地域の連携をする。今は殆ど教頭先生。外部との連携活動は責任を持たせてやる。やることの変化はないのですが、学校の中に拠点を作りなさいというのが、中央教育審議会の方針だと思うんです。それに対して南中はいろいろやっていますが、もともとベースが「南中を考える会」という会がそういった目的で作られた会ではないので、たまたま上手く連携できたからやっている。ただ先生方も困ってしまって、教育委員会が方針を出さないから。僕は出てないと思っているから、当然ながら出張も行けない。そういった研修会にも行けない。予算もないから。手弁当で行ってよという形で、僕は2年間行っているんですけど、僕自身はメリットあるんですよ。学校と地域の活動について、いろんなことを教えていただけるので、僕個人はすごくメリットがあるんです。ただ現実的に実際、南中を考える会の図書館部会も入っていま</p>

	<p>すから、反映して、うちの学校もやりたいねと報告しながらやっているんですけど。如何せん、犬山市は南中だけではないでしょう。新しい学習指導要領が2021年からになってくると、この活動自身が方針としてなっていくと思うんです。そうなった時に今から先生方を育てて準備しないと何ともならない。南中だけで先導してやっても意味がないし、やはり全ての小学校区中学校区でそういう体制を作らないと意味がないんですよ。だからその方針を出されるのが教育委員会であり、教育長であるんですが、校長先生や教頭先生に聞いても、僕には教育委員会が地域学校協働事業に関して、どういう方針を出しているのかさっぱりわからない。だから先生も出張にも行けないし、市の職員も来ないし、この尾張地域で市の職員、コーディネーター、先生で来ていないのは犬山市だけです。大口も扶桑も小牧も春日井もみんな来ています。犬山市は僕だけです。これはやはり変だなと思うんです。変だなと思うのは、教育長及び教育委員の皆様が、それに対する統括意識を持っていない。具体的にこうなさいという方向を出してないから。今、権限が重いとおっしゃいましたね。何もしていないのはおかしい。何か考えがあってやっているのならわかるんですけど、何かこういう考えがあるからということも聞こえてこない。中央教育審議会が社会教育法もその対応について改正されましたから、その方向を具体的に示さないと。だから、具体的に示さなくてはいけないのは2つ。1つは地域コーディネーターを配置すること。学校の中に地域コーディネーターが要る場所を作ること。この2つは大前提です。そのために何をするかということをまずやっていただきたい。</p>
<p>教育長:</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。犬山だけが出遅れているといったご意見だったんですが、地域コーディネーターという言い方ではないですが、1人ずつそういった方を増やして行って、去年1人、今年2人、そういう立場の人間をだんだん増やしていこうという方針であります。今おっしゃったように基本的な考え方をまずはっきりさせた上で、1つずつ、他の市町に追いつくようにがんばります。ありがとうございます。</p> <p>では、次へいきます。国語教室をやっているらっしゃるといのは、実際子ども達にどんなことを教えていただいているのですか。</p>
<p>参加者:</p>	<p>学校の国語の勉強ではなくて、算数とか他の科目を勉強する時に、教科書が理解できないとか、先生の授業が理解できていないという子が多いので、いろんな勉強をするための日本語力を上げるというのを目的で行っているんですけど、需要が結構あるようで、私が見ているのは30数名で、いっぱい順番待ちをされている方もみえます。これだけの方が困っているんだなというのを感じているので、何か要望があるというわけではなく、そんなにみんな困っているのなら、もっと広い範囲で何かできないかなというのと、学校でこうやっているからこういうアドバイスをすればもっと出来るようになると、私自身が出来るいいなという</p>

	つもりで、ここに参りました。
教育長:	実は、犬山も読解力を子ども達に付けたいと。国語の学習、読み書きそろばんもそうですが、国語の学習がベースになってくると思うのですが、例えば算数、数学の問題でも文章題が出ますよね。これも読解力がないと解けない。それから理科でもそうですが、物理、化学いろんな科目がありますが、何が問われているかがわからないと答えが出ない。先日ある方からお話があったんですが、平行四辺形の面積を求めよ。単なる図形の平行四辺形を出すと求められるのですが、長方形と平行四辺形とどちらが面積が広いですかとなると、一気に点が下がると。多分文章を根気よく読む力がないのか。そういう部分だと思いますが。ですから何とか読解力を高めていこうと。そのためには図書館の充実も必要ではないかということで、犬山は取り組んでいるところです。学校現場にもこんなことをやるといいよというものがあるようでしたら、ヒントかコツがあれば、ちょっとお聞かせいただければと。
参加者:	本当はいろいろこういうことをやれるよと、学校の先生方に話したいなというのは持っているのですが、一塾講師なので遠慮しているのですけど。
教育長:	わかりました。一度、教員達を対象にお話をいただけるような研修の場を設ければ、講師としてお出でをいただけそうですね。
参加者:	私で良ければですけど。
教育長:	<p>それでは、また後から。是非、そんな機会を持てたらと。使えるものは何でも使いたいと思っています。ありがとうございます。</p> <p>では、2学期制のことが出ました。かつてと比べると、2学期制を3学期制に戻したらという声はずいぶん少なくなってきております。これは何かというと、中3の子どもさんを持たれた親さんは、高校入試の時に2学期制だと、10月に前期の評定が出ます。3学期制だと12月に評定が出るんですね。その10月の評定が高等学校へ行くのか、12月の評定が高等学校へ行くのか。この2か月でうちの子は絶対成績が上がると。なのに10月の時点の評定が行くのは納得がいけないという方が随分多かったと思うんですね。同じようなお考えでいらっしゃいますか。</p>
参加者:	そうですね。小学生のうち、さほど2学期制であろうが3学期制であろうが、そんなに大差はないという思いがしています。だけど子どもが成長して中学になった時にどうなるか。やはり親としては、受験に支障が出るのではないかと不安感が3学期制に戻してほしいという、まだ中学生になってもいない子どものための不安というか。実際中学生のお子さんをお持ちの保護者の方の意見で、大差がないよというようなお話が出れば、そのように思うのかもしれないですけど、高校受験の不安感ですね。
教育長:	他の方どうですか。2学期制、3学期制について言いたいことがあつ

	たらずひ。
委員:	この2学期制のことについては、教育委員会でも随分議論はしてきました。今言われるとおりで、実際中3の進学するお子さんを持った時に、保護者や本人が抱える悩みだと思います。それは理解していただいたので、随分議論してきました。中学校の指導が中1、2年は進路指導、それが中3の2学期でいきなり進学指導という言い方になってくるので、そこに根本的に問題があると私たちは考えました。それで進学を含めた子ども、親さんと意見交換を、ある程度前倒しする形で、進めていくべきではないかということで、随分動いてもらって、2年生位の段階で進学指導を行うことで、結構理解を得ているのではないかと思います。保護者の方が思われる急に進学指導になって、というところは十分理解しておりますので、前倒ししながら進学指導も含めて子ども達に指導していきたい、してほしいということは強く言ってきたつもりですので、そこが十分浸透していけばと思っております。
委員:	私の子どもも、今大学生、高校生、中学生で、まさに真っ只中の子どもが3人おります。全く問題はないです。実際に成績の評価の仕方は、中3の夏休みまで部活を一生懸命やって、2学期から頑張っ成績を上げよう。だから1、2、3学期が良いと思われるかもしれませんが、実際それは大間違いです。その1学期で急に成績が上がるというのは学年テストの順位だけは上がるんです。でも、学年テストの順位が成績の評価のどの位の割合を占めているかというのはご存知ないですよ。実際のテストの評価は単元テストと定期テストと出席日数。ですから、例えば通知表が3の子が定期テストがいきなりトップになっても、5になることはないです。単元テストが出来ていないと、ひょっとしたら2になるかもしれない。2学期制の良いところは、夏休みの間にそれを取り戻すように、1人ずつ学校側が学習の方針を出します。なので夏休み前に保護者会があって、夏休みの間にこれを頑張りましょうというのがあって、10月の定期テストに向けて取り戻すことができます。それから実際の受験の時に、10月に成績を高校に出すとすると、もう11月からは受験1本で頑張れるんです。なので早い段階で学校を決めて、自分の方法で受験勉強ができるんですが、3学期制は12月まで学校のテストがあるので、2学期制は一步早く取組ができる。1番大事なのはどこの保護者の方もよく言われますが、先生が相談に乗ってくれなかった。でも本来決めるのはお子さんとご両親だけなんです。そこが本気になってちゃんとお子さんを見ていただきたいというのが、実際やってきた切なる思いであります。ですから逆に僕は2学期制の方がいいかなと感じています。
教育長:	実際に3学期制の学校で校長を勤められた紀藤委員でありますけど、今は2学期制の犬山で教育委員をなさっていただいておりますが、両方、その辺り率直にどういうふうにお感じになってみえますか。
委員:	率直には2学期制も3学期制も変わらないです。本人がどれだけやっ

	<p>てきたかというのを、長いスパンで見れるのが2学期制で、試験があるからやるのではなくて、日ごろから小学校の時からずっとやり続けていくことが、学力に繋がっていきます。教委で激論したのは進路指導進学指導に区別。3年生になってから急に進学指導をされても遅いから、2年生の終わり頃からそれに入れば、そういうモードに子ども達は変わっていくし、私は全学期制でもいいと思うんです。1年間同じでも単元テストもみんな入っているんですから、まとめて今から100ページ分勉強しなさいと言われるよりも、毎回毎回この単元終わったからやるよと。少しずつの積み重ねが力になっていくと思うので、私自身は3学期制も2学期制も大きな差はないと思います。初めは戸惑いはありました。でもいいところは何だろうなと思った時、夏休み前に管内大会がある。その時、3学期制の学校は7月はずっと試験に追われるんです。試験で体力を消耗して、夏休みにすぐ大会をやると運動部は倒れる子もいます。やはり徹夜で頑張っている子もいますから。でも2学期制はそこに力を入れられます。新人戦がある頃、10月ですけど丁度学期が変わります。ですから、2学期制だと、そこは不利かもしれないです。でも次に春の大会、夏の大会で頑張れると思うと運動もできます。ですから大きなスパンで見ると、大きな変化はない。2学期制はメリットの方が多いのではないかと捉えております。</p>
<p>教育長:</p>	<p>私も中学校におりましたので、ちょっと付け加えさせてください。例えば公立高校へ行きたいという子は、3月末の卒業の時の成績が2学期制であろうが3学期制であろうがその時のものがいくんです。これはどちらも不利はないですよ。問題は私立高校だと思うんです。私立高校の入試が2月の頭にありますが、私立高校の評定が2学期制ですと、10月の前期の評定がいきます。3学期制ですと12月の2学期の評定がいきます。この2学期の期末テストが終わった後に評定を出すのに、3学期制ですと急ピッチでやらないといけません。それがわかってからでないと私立高校の受験校が決まらない。ところが2学期制ですと10月に評定が出ています。そうするとその評定を基に、じっくりと正しい数値で指導ができます。ところが12月ですと、多分保護者会はもっと前にあるものですから、だいたいこの位の評定ではないかということで、指導をしていきます。でも実際評定が出て、これはちょっと難しいとなると、また個別に指導しなければいけないのですけど。ですから、より確実な進路指導ができるというのが、2学期制ではないのかなと思っています。それともう一つ、例えば体育の授業で7月に水泳の授業があります。7月の時点でプールが苦手な泳げない子がいた。3学期制ですと泳げなかったら1学期の評定は×になってしまいます。ところが泳げなかった子が夏休みに猛練習した。泳げるようになった。夏休みは前期の期間に入っています。だとするならば前期の評定に、夏休みの頑張りが反映します。もちろん良い事ばかり言ってるなど。犬山市の教育委員会も学校現場も子ども達に不利になるような制度は絶対とらないんです。</p>

	<p>子ども達に良かれと思って、2学期制を平成16年度からやって来て、これがずっと来ているということは、やっぱり3学期制より2学期制の良さのほうが多いよね。実は愛知県の公立高等学校が、2学期制を盛んにやった時代があるんです。テストの回数が減るので子どもが勉強しなくなるんです。軒並み3学期制に戻したんです。じゃあ犬山の子ども達は2学期制にしてどう。勉強しなくなったかと言えば決してそうではないです。ですから安心してください。不安に思われる方がみえたら、滝のところへ行って来いと呼んでください。</p>
参加者:	<p>自分が3学期制で育ってきたので、いきなり子どもは2学期制と言われても、やはり先ずは違和感とか、慣れないという意識が全面に立ってしまうと思うんです。今お話を伺うと、2学期制も3学期制もさほど変わらないという意見や、2学期制はゆとりがあって進路に向いているとかいろいろ意見を聞いて、これが多分自分の子どもが中学校に上がって、受験を控えた時にやっぱり2学期制のほうが良かったんだなと、その時になってやっとお話がわかるのかなという気がします。</p>
参加者:	<p>どちらも変わらないです。先程公立高校が2学期制と言われましたが、明和もずっと2学期制ですね。頭のいいところ程、2学期制かなというのをちょっと感じています。でも2学期制もゆるいんです。もうちょっとガンガンやって欲しいなというのはあります。やっぱりテストの回数、高校に入って3学期制になって、またテストだ、またテストだとなかなか南中の子達は、そのテストの多さについて行けなかったりもします。なので2学期制3学期制関係なく、自分のモチベーション、家族がどう子どもを引き上げるか、先生がどう引き上げてくれるか、それに尽きると思いますね。内申云々はその制度に合わせて頑張っていくしかないですし、受験に向けてというよりは、自分を高めるための勉強と日々の勉強なので、2学期制3学期制はそんなに変わらないと思いますが、犬山自体の教育はちょっと温度がぬるいかなという気がしないでもないです。もうちょっと中学校はビシビシという感じで絞めてやってくれないと、中3になってまだ進学指導の話が出ない。まだ少し遅いような気がします。長男は大学2年なんですけど、その時は中1の段階から高校進路の話が出ていたのに、三男の時は中3になってやっと出た。だからちょっと段々緩くなっているし、良い事なんですけど、レクとかが多すぎるような気がします。もっと勉強してよと、他市に比べてちょっと温度が。他市の友達に会うと私ってすごくぬるま湯に使ってるんだって思うことがあります。</p>
教育長:	<p>ただ、犬山の子ども達が近隣の市町の子ども達と比べて劣るのかと言ったら、決してそうではないと思うんですよね。学校生活は試験試験とか勉強勉強で終わるのではなくて、やっぱり仲間といろんな思い出を作っていく。これが学校の大きな役割だと思うんですよね。個々のお母さん方のお子さんへ対しての思いはわからないでもないです。だから学校も今、子ども達の力が作られるような場面、手立ては考えていてくれま</p>

す。自分が思いますのは、先日二十歳の集いの時に、私は城東中学校で退職をしたんですけども、子ども達に会ったんです。今どうしているのと言ったら、名大の医学部へ行っています。南山に行ってます。東大いきます。という子がいるんです。だから決して犬山の教育がぬるいとかではなくて、あの子達は犬山でやって来たことがベースになって、高等学校で花が開いて、大学でまた頑張るんです。頑張る余力を残して高校へ行く。高校で更に頑張れる。これが犬山の子達の良さかなと、改めて私は思っています。2学期制いいと思います。ありがとうございました。

では次に行きたいと思います。給食費のことなんですけど、実はこの会とは別に、3回程給食費の説明会を。その前に教育委員会事務局の担当がPTAの会長の皆さんが集まるところで、説明をさせていただいたんです。ほぼ会長の皆さんの様子は、わかりましたという状況でした。いざそれぞれの学校のPTAの役員会に、また同じように課長と一緒に回ったんです。そうしたらある学校だけが、会長さんがお見えにならなくて、ちょっと判断ができないから待ってほしいと。あとはみんなOKだった。わかりましたということでした。問題なくいけるかなと思ったんですけど、ある学校から火がつかまして、何か難しい問題になってしまったんですけど。給食費は小学校260円、中学校300円なんです。これは平成21年度からなんです。当然ながら物価も上がってきますし、消費税が上がった時期もあったんですけど、何とか学校現場のやりくりで、栄養士さんたちの努力で、ここまで来たんですけど、実は栄養価が十分ではないんだと、このままでいくと子ども達に十分な栄養が給食で与えられないという問題がわかったんです。本当はもっと早くキャッチをしなくてはいけなかったのですが。何が必要かと言ったら、給食費を少しでも上げて、何とか栄養価が満たせるような状況を作りたい。それで今、動きだしたんですね。犬山の学校給食は自校方式を取っています。多くの市町村がセンター方式で1箇所で作って、学校ごとに配送しています。でも犬山はそれぞれの学校に調理場があって、給食を作っているんです。だから給食の前に学校を回ると「いい匂いがするな。早く給食の時間にならないかな」と思う。多分子ども達も同じように思うと思うんですが、まずは自校方式であるということ。これは温かい給食が子ども達に提供できます。温かいということと、誰が作ってくださるのか子ども達にわかりますし、調理員の方々も誰のために作っているのかよくわかる。学校給食は単に調理員さんが作るだけではなくて、地元の食材を納めてくださる業者の方もひっくるめて、犬山の学校給食を作ってきたんですね。ですからこれが足りないという、すぐに持ってきていただける。給食のメニューは1ヶ月前に出来て、食材は1ヶ月前に発注することが多い。そうすると小回りの利く業者だといろいろ手直しをすぐにやっていただけますが、これが大きな業者だとなかなか難しいところもあります。時々はこのようなものが取れたと、地元の方が持ってきていただいたものも、お芋だとかを学校給食で炊いて食べさせるとか、い

	<p>ろんな融通がききます。土曜日日曜日に行事がある時に、月曜日が代休になります。月曜日の給食を土曜日日曜日に回してくださいと言っても、自校方式だから簡単にできます。センター方式だとそれができないから、必ず弁当持ちになります。そういうことを思うと、自校方式であり、地場産の食材を使うことだとかは、これは犬山の学校給食の根底にある考えですので、これを止めますというわけにはいかないと私は思っています。今子ども達に十分な栄養価を満たすような給食を提供するには、値上げするのはしょうがないよね。何とかご理解をいただこうかということで動き始めてきています。ただ、年間180～190食ありますが、1食10円上げて、1800～1900円。20円上げると3600～3800円。30円だと3倍になります。教育委員会としては給食値上げします。例えば市の財政のほうに、教育委員会は予算要望は出来ますが、予算は市長の権限です。ただ犬山市は羽黒小が出来て、今は楽田小の建築をしています。それと本年度、全ての学校にエアコンを設置しました。教育でたくさんお金を使っています。それでまた給食費を公費で負担をしろというのは、非常に難しい状況だということをお私に十分わかっているものですから、これは何とか保護者の方に、ご無理を言わなければいけないと思っています。</p>
参加者:	<p>これまで市側が給食費の値上げに対して、各地域で説明会も重ねていただき、やはり保護者としては子どもの栄養価が足りないだとか、食材が賄えないという話を聞くと納得せざるを得ないんです。子どものためには高くなっても、何とか負担してあげるしかないという思いで、皆さんも納得せざるを得ないと思うんですよね。ただ本音をいうと、やはり値上げをすることによって、確かに自校給食で配送にお金がかかるという環境も踏まえて値上げをした時に、県下一高くなるとか、日本一高くなるという話になると、実際、子どもの給食以上に自分の生活費かという不安が生まれるのも確かなんですよね。実際毎月小学校に、月々支払う時に明らかに他市よりも高いということが明らかになると、ちょっとどうなのかなという、そういった気持ちが生まれるのは本音で、犬山市が学校の建設費とか教育費にお金がかかるというのは非常によくわかるのですが、そこを何とか10円でも20円でも負担をしていただけないかという気持ちが生まれるのは、出てしまいますね。</p>
教育長:	<p>本当は値上げなんてしたくないですよ。こんなことはしないですが、ごまかしごまかしであるだけの予算で給食を提供しようと思えば、出来ないことはないですよ。ただ栄養価がうんと低くなりますよね。それと犬山の給食は、多分学校現場で召し上がられた方もありますが、1品多いんです。</p>
参加者:	<p>教育長がおっしゃられている、金額を維持して質を落とすことに賛成しているわけではなくて、金額を上げるんだけど、その分の10円20円を市が負担するという検討には至らないか、そういう方面に何とか考えていただけないかというのではないかと思って。たかが10円されど10</p>

	<p>円。しかも子どもが1人2人3人4人といると、すごい金額になってくるんですよ。</p>
教育長:	<p>例えば、10円分20円分、市で負担しましょうとなると、これは多分教育委員会の予算の中から何かを削らなければいけないことになる。そうすると例えば、消耗品を削ります。図書費を削ります。それを給食費の値上げ分に充てますとなると、消耗品が足りなくなったら最終的にどうするかというと、学年費で紙を買ったりしなくてはいけなくなる。結局は保護者が負担をすることになる。だから何を負担するか。給食費を負担するのか、消耗品を負担するのか。だって予算は限られてしまっているんです。じゃあ給食費は負担しましょう。ただし印刷物の紙代は保護者が負担してくださいねという。例えば消耗品はこれまで通り市で負担できるものはしましょう。だから、給食費は申し訳ないですけど保護者をお願いできないですかということ、頭を下げて回ったわけなんです。</p>
参加者:	<p>保護者が負担しているものは給食費ですけど、例えば学用品で指定のものが結構高かったりするので、その幅を少し広げてもらえると。絶対これでないといけないと言われると、サイズが変わる度に高い体育館シューズを買い続けなければいけないとか、制服をもう少し簡易的なものとか。安く買い換えられる方が個人的には有難いので、そういうところを少し抑えて給食費は上げれば、保護者の負担は下がるのかなと。給食だけでなく、もう少し広い範囲でみられるといいかなと思います。犬中は夏場は暑いということで、体操服での登下校を許されていたんですけど、それでいいじゃないという勢いで、もっと洗濯が効く、例えば体裁を整えるのであれば、簡易的なポロシャツとかに検討すると、負担がすごく減るかなと感じています。</p>
教育長:	<p>わかりました。夏の汗を掻きやすい時期には、ワイシャツではなくてポロシャツのようなもので、洗濯の効くもの。でもそれが制服になってしまっただけで負担が大きくなるかもしれないですけど。一度検討させてください。給食費の値上げは仕方ないけど、他のところで規制を緩めて、安く済むようなものがあればしてほしいというご意見をいただいたということは、頭の隅にきちっと置いておきたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>あと、児童クラブがセンターから学校内へということがございましたね。これは順次進めておまして、今は東小、羽黒小の2校。要は公共施設の再配置という考え方で、子ども達が使うものは、一か所にまとめていった方が経費も節減出来るし、個々の施設を充実させられるのではないかという考えがあるんですよ。今、楽田小学校も建築していますが、羽黒小学校は既に改築の時に、児童クラブが出来るといった造りをしていただいて、実際運用しています。今度は楽田小学校も同じような考え方で、だんだん全部の児童クラブが学校の中に入って行くような手順で進んでいますが、これについてご異論があるということでしょうか。</p>

参加者:	<p>異論と言いましょか、もう移転が決定していますし、もうそれに向けて進めているので、それに関してはもう仕方がないですけど、内容の充実ですね。今まで児童センターにクラブが入っていたために、クラブを利用していただいていた子ども達は、センターの行事にも参加できたという二重のメリットがあったわけなんです。イベントが倍楽しめると言いますか。これがセンターとクラブが完全に分かれてしまうと、学校にクラブが入ることによって、そこまでの充実が図れるかという内容に不安が生じているということです。私の子どもだけかもしれませんが、今センターに併設しているクラブに通うことで、非常に楽しく喜んで嫌だと言わずに通ってくれています。それは本当に犬山市のクラブ様様だと思っているんですね。私もクラブに預けないと仕事にならないくらい、有難く利用させていただいているので。ソフト面といいますか環境面で、内容的に充実が図られているかということに、今、心配が生じているということです。移転することについては仕方がないです。</p>
教育長:	<p>児童クラブが学校の中に入ることによって、サービスが低下しないかと言うことが心配ということですね。わかりました。そんなお声があるということで、外にあった時と同等のサービスができるかどうかは別ですが、保護者に満足がいただけるようなサービスが提供出来るように、学校内での児童クラブの運営に努めていただくようにですね。</p>
参加者:	<p>保護者というより、子どもが過ごしやすい、楽しめる空間を望んでいます。</p>
参加者:	<p>質問ですが、楽田は数年前に新しい児童センターを作られましたよね。それは廃止して、学校の中に入ることですか。</p>
教育長:	<p>児童センターは児童センターであるんです。児童クラブというのがあるのですが、児童クラブを学校の中に入れるという形です。</p>
参加者:	<p>新しい施設があるところで、全体の方針だからと言って、あえて学校に移す必要もあるのかなというのが素朴な疑問です。</p>
教育長:	<p>結局、羽黒にしても楽田にしても、新しい学校を作っていくわけですが、やっぱり小学校というのは、地域活動の拠点になるような、そういった機能が併設できて、それで小学校の施設が充実できれば、その方が小学校にもメリットがあるのではないかという考えなんですけど。</p> <p>社会教育は別の機会がいいですね。一通り、いただいたご意見については議論をしましたが、新たに3名のお母様方がおみえになりましたので、子どもさんの学校とお名前、犬山の教育について疑問に思われていること、知りたいこと、教えて欲しいこと、要望がしたいということがあれば、ここでお聞かせいただけるといいかなと思いますけども。</p>
参加者:	<p>自分が幼い頃、小学校も中学校も3学期制で過ごしていたので、2学期制になかなか慣れなくて、その点について疑問を感じていることですが、娘が1年生の時から夏休みを迎えて、夏休みに入る直前も普通に5時間目まで授業をやって、何も区切りのないまま長い夏休みを迎えて、</p>

	<p>通知表をもらうことなく何となく夏休みに入るのが少し疑問を感じていました。周りの話を聞くと通知表をもらっていないけど、出来てない部分があって夏休みに補習をしてもらう。ただ親としては懇談会で、この辺りが出来ていないと聞くので、それは先生にお願いしますが、子どもにそれを伝える時に、何で僕が行かなくてはいけないのかを、結果として納得できないまま補修に行かされる。何となく子どもの中でも、区切りができていないのではないかと感じます。また親としても、10月に通知表をもらいますが、自分もなかなかゆったりと向き合えなかったりとか、3連休があるのでしっかりお休みはありますが、これを見てどうしようというところまで動けないということもあって、毎年4月のPTA総会の時に、2学期制についてのお便りをもらいますが、親としても子どもとしても、そのメリットを感じられない実態があるので、できれば本音を言うと、娘が中学校に上がる位までには、3学期制になるといいなという思いはあります。</p>
参加者:	<p>3学期制にさせていただきたいというのが本音で、PTA総会などでこういうメリットがありますよといろいろご紹介いただけますが、それが納得できないというか分かりづらくて、2学期制だからこういうところがいいよというのが、はっきり見えてこないというか。もう少しきちっとした説明があれば納得できるんですが。なのでその辺を明確に保護者に伝えていただきたいのと、もう一点ありまして、児童クラブの長期のお休みの時の朝の受入時間ですが、楽田地区は7時半からとなっておりますが、会社が遠い親さんは会社に間に合わないというのがありまして、春日井市の会社に通勤してまして、始まる時間に間に合いません。そうなってくると、会社を辞めるとか、パートに切り替えるという事態になってしまいます。保育園は7時からの受入なのですが、どうして小学校になると7時半からの受入しかできないかというのが悩みです。</p>
教育長:	<p>子ども未来園は7時からで、小学校の児童クラブが7時半からということなんですね。すぐにこうしますとお返事できないかもしれませんが、こんなお声があるということは真摯に受け止めて、検討させていただきます。2学期制のことは少しお待ちくださいね。</p>
参加者:	<p>すごくいい機会だなと思って来させていただきました。今日、授業参観だったんですが、なぜ3時下校で、3時にこれが始まるのか。仕事を早引きして来られている方もみえると思います。広く意見を求めるという姿勢で開いていただけるのなら、しかも犬山市の教育委員会であるのなら、全てを把握して1時間でも遅くしていただくとか。皆さんお忙しいでしょうが、その配慮は、次からはお願いしたいなと思います。今お話を聞いていて、思ったことを列挙させていただきたいのですが、給食費の値上りに関しては自分自身は必要だなと、給食を食べて思っています。他市と比べてどうかということは、犬山市の税金は収入として少ないものですから、一家庭が負担してしかるべきであると私自身は感じています。PTAの役員をやっている中で、給食をいただく機会が何回か</p>

ありまして、その中で驚いたのは、タンパク質源がかなり少ないというところで、牛乳がメインなんですけど、トマトビーンズの大豆が少ししか入っていない。取り分けの調整かなというのはありますが、育ち盛りの子にタンパク質が少ないのは、自分自身親として、特に男の子ですし、危機感を感じまして、昔は給食を食べていれば元気でいられるから、朝と夜はお母さんが楽をするみたいなイメージだったんですけど、この頃は朝と夜でタンパク質取らせなきゃみたいなどころがあります。野菜はしっかり取れていると思うので、自分の意識改革を今しているような現状で、栄養士さんが言っている栄養価が不足しているのではないかというのは、そうだなと感じていまして、母が調理員をやっているんですけど、もう退職しましたが、やはり給食だけでなんとかご飯が繋がっている子もいると聞いて、夏休みになると細くなっていってしまう。夏休みが終わって出てくると、細くなる子が何人かいるという現状を聞きまして、自分たちの家庭だけを見るのではなくて、いろいろな家庭がある中で給食がどれだけの意味を持つのか、そういったことまで考えて給食というのは考えていかなければいけないなという中で、給食費の金額は所得によって大小ができてもいいくらい、負担していきたいなと思いました。その反面制服などは、今年中1になった息子も、体操服を夏に着ていけるのは、洗濯の手間も省けますし、子ども達も涼しい、動きやすいと言って着ていったので有難かったです。制服に関して常に言われるなど感じるのは、自分で着替えることによって、温度調整をなささいというような手紙がよく出るなと思っているので、やはり親が管理するのではなく、子ども自身がどういうものを着ていって、どういう状況の時にどういうものが必要か、そういったものを本人に選ばせる可能性というのをそこから読み取りまして、いろんな選択肢がある中で、本人がそれをどういうふうにご利用していくかの訓練としては、とてもいいなと思います。ただ、その中で給食費分を出すには、例えば学校でリサイクルバザーのようなものもやっていますが、もっと強制のようにして、なるべく大切に使い、1年間終わったら返してくださいという制度にして、そこで例えばPTAの人たちが整理したり、教科書を変えないという方向だとか、制服も江南にそういう場所があるそうなんですけど、民間の力も利用しながら、賢くお金を使っていくという仕組みづくりをぜひお願いしたいなと感じています。最後は児童クラブについてですが、私自身は引っ越してきましたが、犬山市はすごく違うなと思ったことは、児童クラブの立ち位置なんですね。私自身はなるべく子どもは自分で育てたいと思って、仕事に出るのは遅くしたんですけど、その中で夏休みに遊びに行くところは児童センターだったんですけど、市外の児童センターは6年生から1年生まで遊びに来る子が遊びに来れる場だったんですけど、犬山は児童クラブの子でいっぱい、遊びにいても居場所がないような状態なんですね。やはり児童クラブの先生も安全面の関係で、児童クラブの子はこっち、児童クラブではない子はあっち。児童クラブの子は

	<p>ご飯を食べるけど、そうでない子は一旦帰ってという状態だったんですね。うちの子どもが遊びに行った時に、遊びたい友達がいるのに、その子は児童クラブの子だから遊べないということもあって。暑い時期に児童クラブにクーラーがあって、皆で遊べる場所があるというのは、すごく岐阜ではありがたくて、しかもその中で6年生から教えてもらう遊びがある。そういう場所になっていたのだから、これから犬山が機能を担っていただけるのかなと思うととても楽しみです。</p>
教育長:	<p>ありがとうございました。たくさんご意見いただきました。大体はご意見でしたので、お聞きしてこれからの教育行政に活かしていきたいと思えます。問題は2学期制の話が出ましたが、おさらいしますか。</p> <p>一般的に小学校のお子さんを持たれる親さんは、2学期制であろうが3学期制であろうが、3学期制も2学期制も変わらないというのが結論なんですけど、中学校の3年生が1番心配だということで、中学校3年生の進路には2学期制も3学期制も変わらないよ。むしろ2学期制の方が正確な数字を持ってやれるという話をしたんです。だからご心配をさせていただかなくてもいいんだよと言いたいのですが。要は2学期制の良さが感じ取っていただけないんですよ。実はその努力を学校現場にはしていただくようお願いしたんです。2学期制を3学期制に戻せというのがよく聞かれたので、とにかくそんなに3学期制に戻せという声があったら、本当に3学期制に1度戻したらどうか。そうすると2学期制の良さがわかる。今2学期制だから、2学期制の良さがわからずに3学期制がいいなと思ってしまいますが、だから学校現場は保護者に2学期制の良さをしっかりアピールしなさいということで、いろんな努力をさせていただいたんです。例えば、通知表も3学期制ですと7月の夏休み前に出ます。それから12月にも出ます。2学期制だと10月しか出ない。だけど単元ごとに、この単元ではどれだけのことができました。こういうことをこれから勉強するといいいですよという辺りは、学習は区切りごとに出来ますよね。例えば算数のたし算、ひき算、かけ算、わり算とあるとすると、この学習が終わったところで単元テストをやって、この結果がこうでした。これは出来たけどこれは出来ません。だからここはもっと頑張りましょうということが、単元ごとにお知らせできます。</p>
参加者:	それは3学期制でも2学期制でも同じですよ。
教育長:	2学期制にするから、もっとそれを分かりやすくしてほしいと言っているんです。2学期制にして、通知表が年に2回しか出ないから、単元ごとの子どもの学習の様子を、もっと保護者にしっかり伝えてくれと言ったんです。それが多分、なされていないという話なんですよ。
参加者:	単元ごとの様子がわかるようには、なっていないのかなと思います。
教育長:	単元ごとに振り返りカードを作りましょう。保護者にもっともっと小まめに。要は3学期制ですと7月まで学習の様子が親さんに伝わらないですよ。2学期制ですと10月にしか親さんに前期の様子が伝わらな

	いすよね。だから、もっと小まめに学習の様子を保護者に伝えてくださいというふうにしたんです。
参加者:	では、他の学校ではそのようにされているということですか。
教育長:	というふうに私は思っておりますが、そうではないですか。
参加者:	テストを持ち帰りはしますが、それは3学期制でも同じですよ。3学期制の学校よりどこがより細かくなっているのかがわかりません。
教育長:	そういう状況だということは、多分学校がやれてないのか、子どもさんが見せてないということはないですよ。ごめんなさい。もう一度元に戻りますね。何かと言いますと、3学期制を2学期制にする時に、子ども達の学習の様子が、7月でお知らせできるのが10月になってしまう。通知表が。だからもっと小まめに子ども達の学習の様子を、保護者に伝えられるように工夫をしましょうと言ったんです。ですから振り返りカードというのを、多分多くの学校では作って、この単元でこれができるようになりました。でもここが少し苦手ですから、もう少し頑張ろうねという振り返りカードを出している学校は多いんです。
参加者:	学習面での振り返りカードですね。ないかもしれないです。生活態度での、何ができるようになったという理解カードはありますけど。
参加者:	他の小学校は通知表ではない物を持って帰ってきます。でもそんなに細かく単元ごとではないです。
教育長:	通知表に代わるものを、夏休み前にも持ってきますよね。犬中もやっているはずだと思いますが。この辺りはそれぞれの学校の。本来通知表は、教育委員会が出せとか出すとか言うものではないんです。校長が子どもさんの学習の様子を保護者にお伝えするものですので、本来教育委員会がどうこう申し上げるものではないのですが、犬山については、同じような形式でやっていこうねということで、教育委員会も一緒になって話し合いはしています。ただそういった2学期制の良さがまだ十分に伝わっていないということは、まだまだ学校も、これからやらなければいけないことがたくさんあるんだなということを実感しました。結論から言いますと、先程から出ているのは2学期制も3学期制も変わらないよということなんです。中学校3年生の進路指導のことを思うならば、3学期制だと当初おっしゃって見えましたが、ご説明申し上げたら、その辺りの不安が少しは解消されたかなと。
参加者:	これまでもこういう話はあったので、私は積み重ねだと思っていますけど。なのでやはりそういう意味では説明が足りないのかもしれないかもしれません。私もこういうたくさんのお話を出席して、いろんな教育委員会さんのお話を聞いて、自分の中で大分納得しかけている。ただまだおそらく機会が浅いので、それで納得できるまでのお話がなされていないというのは、きっとあるのかもしれないという気がします。
参加者:	2学期制の良さが伝わっていないというのは、2学期制の良さがわかってないです。ただ2学期制も3学期制もかわらない。それぞれの子ども

	<p>が頑張るといふ姿勢さえあれば。</p> <p>奥村委員さんは受験の際に2学期制がよかったと言われますが、やはり1、2、3学期の評定が出た方が1学期で駄目な分、2学期で取り戻せば、3学期の評定が上がるじゃないですか。犬山は1学期で失敗したらもう2学期しかないじゃないですか。取り戻しようがないというのはよく言われていますね。ただそれも犬山で生まれ育っているのです、それに合わせて勉強しろということなんです。それしかないと思います。</p>
参加者:	<p>3学期制になるとそんなにいいことがあるのか私はわからなくて、3学期制になっても成績はそんなに変わらないと思います。逆に言えば3学期にテストがある分、本当にその子に必要な勉強ができないという子もいます。目の前のテストのせいで、本当にその子が弱いところの勉強ができないという子も実際にいるので、小まめにちゃんといい点を取る子は3学期制が向いているかもしれないけれど、長いスパンで見ることによって、悪いところを伸ばしていける、その子に本当に必要な所に集中できるという子もいるので、相性はあるかと思いますが、どっちがいいどっちが悪いという話ではないと思います。</p>
参加者:	<p>ただ、私達世代が3学期制で育ってきたので、その違和感がなかなか慣れない。それが1番だと思います。</p>
教育長:	<p>近隣ですと扶桑町も2学期制なんです。それから豊橋市が2学期制にしてから3学期制に戻しました。ただし、3学期制から2学期制に移行する自治体がまた増えてきています。だから本当にどっちがいいとか悪いではなくて、それなりの自治体の考え方があったりする。教育委員会が勝手に決めることはないのですが、学校現場と相談しながら決めることなんです。ただ、ご不安をお持ちなら、そのご不安を少しでも解消出来るように、教育委員会と学校現場が努力しながら進めていきたいと思っています。でも不安に思わないでください。大丈夫です。</p>
参加者:	<p>個人情報云々は有ると思いますが、地域のお母さんから聞くと、新しい年度に入ってくる地元の新入生の情報がなかなか伝わらない。子ども会や通学団の関係で、そういう情報はきちんと把握したいのに、学校側に聞いても、以前は教えてくださったんですが、個人情報が厳しくなつてからは、地域で勝手に調べてくださいといった感じで、放り出されてしまうんですね。だから、きちんと区画されているところはいいのですが、地域が入り組んでいると結構もれている子もいて。交通当番の割振り表とか3月中に作らなくてはならないものもあるので、もう少し融通を効かせて学校から情報を教えてくれないかなという意見があるので要望です。</p>
教育長:	<p>お気持ちはわかりました。ただ、今は個人情報保護で、卒業式でも、今、名簿に名前が書いてないですよ。いろいろやりたいけどやれないという部分があるものですから、そのご要望に100%答えられるかどうかわかりませんが、お互い支え合わなければいけない部分はあります</p>

	から、上手に対応していただけるように話したいなと思います。
参加者:	毎年、地域学校協働活動の地域コーディネーターを育成する研修会があります。南部中がモデル校になっていて、現場の先生は忙しいので、僕が行ってくださいと言われて行くんですが、僕は勉強になるので構わないのですが、デメリットは学校現場や行政現場にすぐにフィードバックできないんです。だから研修会があった時は、学校の先生とか行政の職員さんとか教育委員の方でも結構です。実際他市町は課長さんとか来てみえます。直接教育現場や教育行政にフィードバックできる人を研修会に派遣してほしいです。そういうことを要望したいです。
教育長:	ありがとうございます。他にどうしてもこれだけは言っておきたいことがあるという方。どうぞ。
参加者:	今、私達が給食費や教材費を引き落としになっていて、手数料が11円かかるという現状なんです。それは長年の流れで仕方のないことと対応していました。このために通帳を作って、そこに行って入金をしなければいけないという手間がかかっているんです。保育園ですと幾つかある銀行の中で、自分が使いやすい銀行で引き落としします。手数料もかからなかったと思います。学校はなぜなんだろうという疑問です。常日頃使っている通帳であれば、そういう引き落としできません、残高がありませんという事態にはならず、学校側にも迷惑をかけることはないんじゃないかという思いをしています。
教育長:	これは指定されているから不都合があると。
参加者:	そうです。
委員:	銀行を1本化しておくことは、学校にメリットが大きいです。1つにすると手数料も取られないというメリットがあります。
参加者:	その都度11円、しかも同じ口座から兄弟引き落としますが、兄弟それぞれに11円かかっていたはずです。
教育長:	わかりました。これはすぐにはお返事はできませんが、多分これからの流れとしては、どこも手数料を取らないところはないと思います。増えていくと思います。だからこの11円は金額が低いかもしれないです。もっと高い手数料を取っているところもあるかもしれませんので、その辺り研究をさせていただいて、なるべく保護者の方にご負担がかからないような方法は取っていきたいなと思います。
参加者:	だから、残高不足で直接学校へお支払いをしたことがあります。すみません。そういう手間は学校さんとしてはないでしょうか。現金で回収して云々、それよりは日頃使っている家庭家庭のメインバンクを使っていた方が、気にせず済みます。
教育長:	その辺り研究させてください。では、教育委員でまだお話をしてみえない方がみえますので、言いたいことはありませんか。
委員:	私も子どもが小学校に通っている親です。親の代表として私はここに役割をもらっているのではないかなと思っています。給食費の話から、

	<p>教材をもっと簡潔にとか、いい意見だなとすごく思いました。なぜ体育館シューズをと私も思います。それが当たり前だと思っていましたが、そういうところから考えないといけないとか、いろいろ視野を広げられたかなと思います。私も1人の親として、こういうふうな教育だったらいいとか、犬山にこうだったら子どもを預けたいなという目線で、今からも続けて見ていきたいなと。もっとしっかりしないといけないなと思いました。ありがとうございます。</p>
委員:	<p>本当はそれぞれの意見に、もう少し意見を深めたり答えたりしたいですが、また別の機会ということでしたので。地域コーディネーターのことは、僕自身も心に留め置いて、また教育員会として考えていきたいと思えます。基本的に私は教育の法律とか制度、更に教育費のことを専門にずっとやっていて、先程おっしゃった意見は全く正論で、ただ給食費に関しては、国が面倒をみるべきだ。基本的に教育費は国の責任でやっている。当然教育の機会均等ですから、給食費が0というところもありますが、生まれた自治体で、子どもに係る費用がそもそも違うということ自体がナンセンスで、そんな問題はわかっているけど、国は自治体でやってください。小牧とか大口とか刈谷とか豊田とか、すごく豊富な財政の自治体と同じように教育をなささいというのは矛盾があって、じゃあどうすべきかというところで、自治体は政治の問題になるんです。議会に認めてもらうとか市長が判断するということになって。教育委員会として何もできないわけではないので、私自身も教育委員会の中で、給食費は無料にすべきだという。ただ1委員ですので、これが採用されるかされないかは別の問題ですけど、基本的には全く同じ立場ですし、制服とか靴の問題、まとめて学校徴収金と言われていて、これも余りにも高すぎると、世界と比べての日本全体の現状でして、教育学者は、制服はなくしてもいいでしょう、子どもの自由でしょという考えなんですけど、そんなことしたら学校はどうなるかわかりますかというのが教員の立場です。ただ教員は今までどおり、昔からあったから給食費は取るし、制服も買うし、体育館シューズも体操服もしっかりしたものをということだけで、教員は実はお金を意識してなくて、足りなくなったら学年費、学級費で保護者からという考えが凄く沁みついていて、それは実は教員の良くない慣習があって、そういうところは教育委員会に対してこういう場で言うていただいても結構ですし、忌憚なく学校にどうしてこんなにお金があるんですかと。実際、算数セットなども全員に買わせるのではなくて、各自治体で用意していて、足りなくなったら補充する。そういうことをやっているところもありますし、教育費が無償の国は教科書はレンタルで、学校に置いてあって、大事に使いなさい。下の学級の子も使うからというシステムもあります。そもそも体操服は学校によって違いますし、同じ自治体でも違います。学校ごとに違うのもおかしいでしょというのも、保護者の方ももっとどんどん言うていいと思えます。しかも無償のはずなんですから。柔道着もやらされているのに買わ</p>

	<p>されているという、2重の強制があるということ自体は凄く問題で、そういうところも保護者の方から言っていたら、はじめて学校現場が気づくことも凄くあると思います。どんどんご意見いただければなと思いました。</p>
教 育 長:	<p>こういった考えをお持ちの教育委員さんもみえるので、いろんな意見を議論しながら、教育委員会としての意思決定をしています。</p>
委 員:	<p>学校の制服についてですが、卒業生が制服を寄附して行って、学校でそれをバザーでということが各学校でありますので、そういったことも学校さんで聞いていただくと、非常にいいかなと思います。それから2学期制について。最初に言われました、夏休みの前の保護者会で先生から教えていただく。多分3学期制になると先生はそれどころではないと思います。成績をつけるのに手一杯で。</p>
参 加 者:	<p>でも3学期制でも同じ時期に懇談会があって、それまでにある程度の一人一人の学力の事が把握できていて、懇談会の折にはきちんと保護者に1学期の間の良いところや悪いところをしっかりお話できる体制になっていると思いますが。自分自身が小牧で公務員として働いているので、なので3学期制だから、そこまで把握できていないというのは少し違うのかなという感じもするのですが。</p>
委 員:	<p>私も教育のことが全くわからないまま教育委員に命ぜられて、一生懸命わからないことを聞いてやって来たんです。同じように保護者の立場だったので、もやもやとしてわからないから駄目だということではなく、どんどん聞いていただければ、なるほどという答えが必ずどこかにある。それだけ考えられてこういった仕組みは作られているので、こういう場だけでなく、学校側でも先生でも、近い方に聞いていただくことがより理解をしていただける。納得は難しいかもしれませんが、理解はしていただけると私は思いますので、どんどん聞いていただければと思います。</p>
教 育 長:	<p>理論ではなくて実感をしていただけることが大切ですね。学校には保護者の方に、今以上に2学期制の良さについて実感をしていただけるような手を打つように、お話をさせていただきます。</p>
委 員:	<p>今日は本当に勉強させていただきましてありがとうございました。やはり説明不足というか、今ここに来ていらっしゃる方の後ろには、同じ疑問をもった方がいっぱいいらっしゃると思うんです。そうすると、やはりどんなふうに説明していったらいいのかというのを、今日いろいろ説明されましたが、いろいろ考えていかなければいけないというのが1つ。小学校中学校はお勉強もちろん大事です。だけど、その他の生活の部分もすごく大事にしていかないと、まだ芽になる前の育ちの時なので、そこのところはすごく大事にしていけないと思います。友達が大事とか仲間が大事とか、そういうこともきちんと含めた上での学校生活と考えていったほうがいいかなと感じました。</p>

閉 会

教 育 長:

ありがとうございました。まだまだおっしゃりたいことはおありだと思いますけど、やっぱりこういう会は時々あってもいいですね。よくお話を聞かせていただいて、これから活かしていけるところは活かしていきたいと思います。この場でなければいけないということはありません。市役所の3階に教育委員会室があります。私はそこにおりますので、どうしても聞いてほしい、どうしても言いたいということがありましたら、いつでも遠慮なく来てください。お話はお聞きします。部長も課長も主幹も指導主事もおりますので、誰かが聞いて私に伝わるようになっております。今日はいろいろとお話をありがとうございました。少し暗くなりましたので、気をつけてお帰り頂きたいと思います。ありがとうございました。